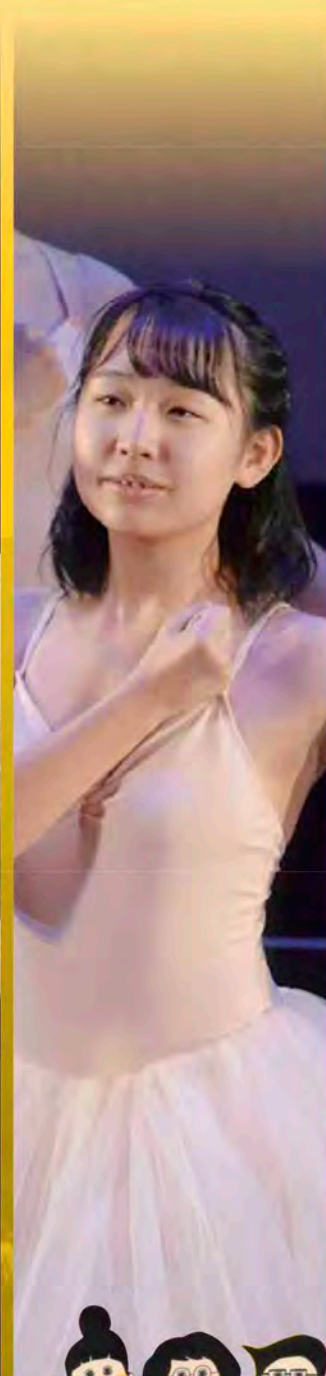


第3回 全国高校生  
手話パフォーマンス甲子園  
実績報告書

手話パフォーマンス甲子園実行委員会



Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

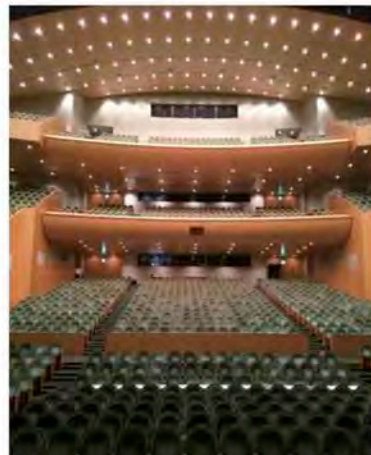
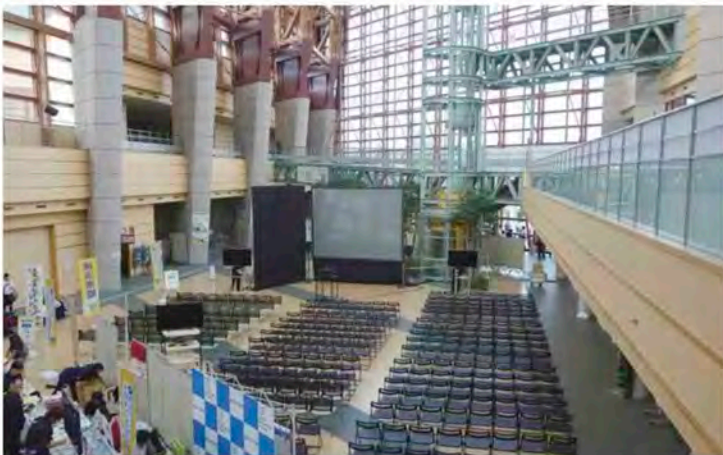




# 目次

開催概要	03	チーム演技	14
大会スケジュール	04	大会の様子	19
主催者あいさつ	05	バリアフリー対策	20
おことば	06	公式グッズ販売	21
来賓あいさつ	07	会場の様子	22
選手宣誓・優勝旗返還	08	交流会	24
出場チーム	09	予選審査会	26
表彰結果	10	広報・誘致	28
表彰内容	11	大会ダイジェスト番組	30
出演者紹介	12	手話パフォーマンス甲子園実行委員会	31

会場となった倉吉未来中心



# 開催概要

## ●目的

ろう者と聞こえる人が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話を身近なものとして理解してもらうとともに、手話とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を鳥取県で開催する。

## ●日時

平成28年9月25日(日) 9時30分～16時30分

## ●会場

倉吉未来中心(鳥取県倉吉市駄経寺212-5)

## ●来場者

約2,000人(サテライト会場含む)

## ●主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

## ●共催

鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

## ●特別協賛

日本財団

## ●特別協力

一般財団法人全日本ろうあ連盟

## ●出場チーム

20チーム(21校)

※平成28年5月9日(月)から6月30日(木)まで参加チームを募集したところ、全国30都道府県から、61チーム(65校)の参加申込みがあった。8月9日(火)に審査員4名でビデオ視聴による予選審査会を開催し、各地域ブロック代表6チーム、上を除く上位13チーム及び開催地(鳥取県)1チームの計20チームを選出した。

## ●皇室の御臨席

佳子内親王殿下に御臨席いただき、おことばを賜った。



本大会には、佳子内親王殿下に御臨席いただきました。



# 大会スケジュール

## ●スケジュール

9月25日(日)	
時刻	内容
9:30～	<p>開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催者あいさつ</li> <li>・おことば</li> <li>・来賓あいさつ</li> <li>・出場チーム紹介</li> <li>・優勝旗返還</li> <li>・選手宣誓</li> </ul> <p>審査員紹介 審査基準説明</p> 
10:10～	<p>パフォーマンス(前半)</p> 
12:00～	昼休憩
12:50～	<p>パフォーマンス(後半)</p> 
15:15～	ゲストパフォーマー「岐阜ろう劇団いぶき」
15:50～	<p>審査発表／表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審査員特別賞</li> <li>・第3位</li> <li>・準優勝</li> <li>・優勝</li> </ul> <p>(全日本ろうあ連盟賞・日本財団賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審査員長講評</li> <li>・閉会あいさつ</li> </ul> 
16:30	閉会

# 主催者あいさつ

## ●鳥取県知事あいさつ

### 鳥取県知事 平井 伸治

みなさん、こんにちは。本日は、佳子内親王殿下の御臨席を仰ぎ、ここ倉吉未来中心において、第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を開催することができたことは、私ども鳥取県民にとって無上の喜びとするところです。また、全日本ろうあ連盟の長谷川副理事長様、日本財団の尾形理事長様、さらに鳥取県聴覚障害者協会の下垣理事長様をはじめ、数多くの方々からご支援を頂きましたことに対し、心より感謝申し上げます。

予選参加総数61チームという中、大変な激戦を勝ち抜かれまして、20のチームが本日参加をすることができました。心からお祝いを申し上げます。

本年の4月に障害者差別解消法が施行されました。しかし、法律が作られたからといって、それが目的ではありません。スタートなのです。みなさんと一緒に行動することが大切だと思います。

鳥取県では、全国に先駆け「あいサポート運動」をはじめました。「障がいを知り共に生きる、そのためにみんなみんな揃って行動しよう」という運動が全国に、そして海外へと広がりました。また、平成25年には、全国で初めて手話言語条例が鳥取県で制定されました。これも全国へ広がりました。

ここ鳥取県には、大山をはじめ素晴らしい山々がたくさんあります。日本海の雄大な景色が広がっています。大自然が豊富な土地なのです。温泉もたくさんあります。例えば、鳥取県中部地区には三朝温泉や東郷温泉、中には羽合温泉というのもあります。「ちょっと、ハワイに行ってくるね。」これは鳥取県では当たり前のことなのです。また最近では、ポケモンGOが人気です。鳥取では、鳥取砂丘におきまして「スナホゲーム開放区」を認定しました。

これは、砂丘だけではありません。例えば、倉吉市の街並みや境港市にある水木しげるロード、こうした所でもスナホゲームを楽しむことができます。ぜひ、みなさんには鳥取県でポケモンGOを楽しんでいただくとともに、素晴らしいお土産の数々や、また忘れがたい思い出・大



切な友達、そういうものをゲットしていただいて、「もうけもんGO」をやっていただきたいと思います。

また、鳥取県には、コナンの町もあります。鳥取県北栄町出身の青山剛昌先生が「名探偵コナン」を書きました。その原画などが展示してあります。とても楽しいところです。コナン君の決め台詞は、「真実はいつも1つ!」です。私たちの真実は、「障がいを知り共に生きる」事です。

『若人が力を合はせ創りだす 舞台の上から 思ひ伝はる』今年の歌会始の時に、佳子内親王殿下がお詠みになりました歌です。高校生のみなさんのパフォーマンスが全国を動かします。手話に対する理解。そして、障がいを知り共に生きるという事。これが、全国に広がります。コナン君が、難しい事件を解決するように、みなさんも困難を乗り越えて、優勝を目指して頑張ってください。鳥取県民が、そしてコナン君も蘭ちゃんも、応援しています。みなさんの素晴らしい挑戦がこの国を変えるでしょう。みなさんの力で手話を広める、そのために頑張ってください。

結びに、佳子内親王殿下のいやさかと、お集まりのみなさんの御健勝を祈念申し上げます。私の言葉とします。本日は、本当にありがとうございました。



## ●佳子内親王殿下おことば

本日、第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園が開催され、皆様にお会いできましたことを大変うれしく思います。

平成25年に鳥取県では、全国で初めての手話言語条例が制定されました。そして、その後も全国各地で手話の普及に向けた様々な取り組みが行われています。このような活動に力を尽くしてこられた関係者の皆様に、心より敬意を表します。

この大会は、3回目を迎えました。私は、第1回の大会から続けて出席しております。毎回、全国から集まった高校生が、熱意をもって舞台を作り上げていく姿に深い感銘を受けています。本日出場される皆様も、日々熱心に練習を積み重ねて来られたと思います。仲間や先生方とともに、目標に向かって励む貴重な時間を過ごすことが出来たのではないのでしょうか。このような体験は、高校時代の大切な宝物になると思います。そして、これから行われる手話パフォーマンスが、皆様の努力の集大成となることを期待しております。

最後に、この大会を通して聴覚に障がいのある方々と、大切な言語である手話に対する理解が一層深まるとともに、この大会が皆様にとって素晴らしい思い出となることを願い、開会式によせることばといたします。



## ● 全日本ろうあ連盟理事長 あいさつ

一般財団法人  
全日本ろうあ連盟理事長  
石野 富志三郎

代読 副理事長  
長谷川 芳弘



全国の皆様、おはようございます。

本日、秋篠宮佳子内親王殿下のご臨席のもとに「第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が盛大に開催されますことに、心よりお祝い申し上げます。

ここ鳥取県が全国で初めて制定した手話言語条例は、全国各地に大きな影響を与え、現在50を超える自治体で制定されています。平井鳥取県知事におかれましては、6月に発足した全国手話言語市区長会の顧問や7月に発足した手話を広める知事の会の会長も担っていただいております。この手話パフォーマンス甲子園の開催も含め、鳥取県が率先して手話言語の普及に取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。

今日の本大会に出場するチームの中には障害のある仲間とともにステージに立つチームもあります。練習を積み重ねてきた中で、手話でコミュニケーションしたり、アイコンタクトで音のタイミングを伝えあったり、自然とお互いが最適な方法を生み出すことができたのではないのでしょうか。今日は、自分たちの思いや気持ちを惜しみなくパフォーマンスで表現してください。

今年の4月から障害者差別解消法という法律がスタートしました。この法律は、障害者が受ける差別をなくし、障害のあるなしにかかわらず、だれもが住みやすい社会を作ることが目的です。あらゆる場面に障害のある人ない人がいて、お互いが気遣うことなく自然と手を差し伸べることができる、そのような社会への第一歩と言えます。この大会に参加する皆さんはその一歩を踏み出しています。皆さんが新しい社会の一員として活躍されることを楽しみにしております。

最後になりますが、本大会の主催であります手話パフォーマンス甲子園実行委員会をはじめ鳥取県、鳥取県聴覚障害者協会そして日本財団の今後益々の御発展と、出場者の皆さんの健闘を祈り、私の挨拶といたします。

## ● 日本財団理事長あいさつ

日本財団理事長  
尾形 武寿



【手話でご挨拶いただきました】

みなさん、こんにちは。

手話パフォーマンス甲子園は、今年で3回目です。昨年に引き続き、佳子内親王殿下の御臨席を頂き、開催することができました。

日本財団は、手話は言語ということをとくさんの人々に理解してもらうために、努力しております。みなさんが楽しく生き生きと演技をすることが、手話の素晴らしさを日本中に発信することになります。一年間、今日のこの日を目指して頑張ってきたと思います。みなさんの演技を心から楽しみにしております。みなさん、頑張ってください。

日本財団は、手話を広め、そしてあらゆる人達、障がいのある人もない人も、お年寄りも若者たちも、様々な人達が普通に暮らせる社会、そうした社会の実現を目指して、努力をしまっている所存です。

みなさん、がんばってください。期待しています。ありがとうございました。





# 選手宣誓

## 米子高等学校(鳥取県) 田中 幸喜

宣誓。

私達は全国で初めて制定された「手話言語条例」の理念に基づき、ろう者と聞こえる人がお互いを理解し共に生きる社会の創造に向けて、あいサポート運動発祥の地であるこの鳥取県に全国から集結いたしました。

リオのパラリンピックに出場した障がいのある多くの選手の活躍が感動を呼んだのと同じように、私たちは、本大会出場にご支援、ご協力をいただいた皆様への感謝の気持ちを込めて、若さあふれる感動のステージを展開することを誓います。

鳥取県立米子高等学校 田中 幸喜

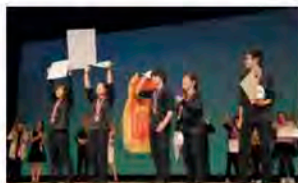
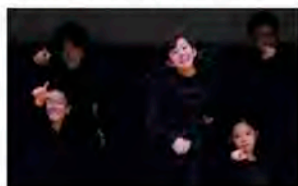


# 優勝旗返還

## 奈良県立ろう学校 永井 美優

昨年の第2回大会優勝校 奈良県立ろう学校の永井美優さんから、平井伸治鳥取県知事へ優勝旗が返還されました。平井知事からは、代わりに優勝盾が永井さんに贈られました。

昨年の第2回大会の様子





# 出場チーム

## ●20チーム(21校)

発表順	高校名	都道府県	出場	内容	タイトル	メンバー数
1	よなご 米子高等学校	鳥取県	初出場	読み聞かせ	手話による読み聞かせ 『はじめてのあかずきん』	6
2	きょうと やわた 京都八幡高等学校南キャンパス	京都府	初出場	学校紹介	支援学校との 交流をとおして	9
3	きょうと あひつろう 京都府立聾学校	京都府	2回目	演劇	3つの願い	7
4	み のぶさん 身延山高等学校	山梨県	2回目	歌唱・演劇	忘れない3.11 ～ろう者の渡辺さんご夫婦との出会いと絆～	15
5	おかざきびがし 岡崎東高等学校	愛知県	初出場	歌唱・ダンス	LET IT BE (そのままでもいいよ、大丈夫)	2
6	よこはま なんりょう 横浜南稜高等学校	神奈川県	初出場	歌唱・演劇	二人の片想いを 後押ししませんか?	12
7	ま ち し 真和志高等学校	沖縄県	3回目	演劇	いのちのリレー	8
8	とっとりろう 鳥取聾学校	鳥取県	3回目	演劇・傘踊り	いなばのしろうさぎ	1
9	まつばら 松原高等学校	大阪府	3回目	演劇	3つのWA ～意識が変われば笑顔が変わる～	16
10	きょうと 杏和高等学校	愛知県	2回目	歌唱・演劇	私たちにできる避難活動	11
11	さかいゆめとそうごう ぎじゆつ 境港総合技術高等学校	鳥取県	3回目	歌唱・ダンス	Walk Together ～私らしく、あなたらしく、自分らしく～	18
12	な ら びんりつ 奈良県立ろう学校	奈良県	3回目	演劇	輝跡-キセキ-	5
13	いしかりしょうぼう 石狩翔陽高等学校	北海道	3回目	演劇	啓発型手話劇 『合理的配慮へのいざない』	5
14	せい しん ぐく えんちゅうとうきょういっく 聖心学園中等教育学校	奈良県	初出場	ダンス	桜 ～すべての人へ～	7
15	おおいずみさくら 大泉桜高等学校 たちかわ 立川ろう学校	東京都	3回目 初出場	ダンス・コント	Road to Tottori	12
16	み い 三井高等学校	福岡県	3回目	ポディーパーカッション ・歌唱	音楽を楽しむばい!	12
17	ちゅうおう 中央ろう学校	東京都	初出場	歌唱・演劇	一郎先生と生徒の歩み	9
18	とっとりじょうほく 鳥取城北高等学校	鳥取県	2回目	コント	忍者学校	8
19	たつみほ 田鶴浜高等学校	石川県	3回目	歌唱・演劇	伝えあえる喜び、 私たちが創る未来	6
20	くまもとろう 熊本聾学校	熊本県	2回目	語り	そのとき僕たちは ～熊本地震～	4

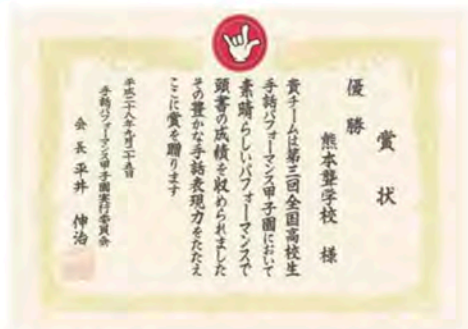
# 表彰結果

賞	発表順	チーム(都道府県)	最終得点
優勝 全日本ろうあ連盟賞 日本財団賞	20	 <p>熊本聾学校(熊本県)</p>	281
準優勝	7	 <p>真和志高等学校(沖縄県)</p>	272
第3位	12	 <p>奈良県立ろう学校(奈良県)</p>	272
審査員特別賞	16	 <p>三井高等学校(福岡県)</p>	-



# 表彰内容

## ● 賞状



優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞。優勝チームには、全日本ろうあ連盟賞・日本財団賞も授与

## ● 盾



## ● 優勝旗



## ● メダル



優勝、準優勝、第3位の選手全員に授与(素材は鳥取砂丘の砂)

## ● 副賞

優勝チーム



「東京ディズニーリゾートギフトパスポート(選手全員)及び15万円分の旅行券」  
また、全日本ろうあ連盟賞・日本財団賞からも副賞が贈られました。

準優勝チーム



「鳥取県の特産品の詰め合わせ 5万円相当」

第3位チーム



「鳥取県の特産品の詰め合わせ 3万円相当」

審査員特別賞



「鳥取県の特産品の詰め合わせ 1.5万円相当」

## ● 記念品

フォトスタンド



メダル授与者を除く選手全員にプレゼント(素材は鳥取砂丘の砂)

# 出演者紹介

## ●演技司会者



はやせ けんたろう  
早瀬 憲太郎さん

ろう者として、学習塾「早瀬道場」を設立し、塾長としてろう児の国語指導を行っている。映画「ゆずり葉」の脚本・監督。NHK「みんなの手話」に講師として出演してきた。



まつもと わかな  
松本 若菜さん

鳥取県米子市出身。2007年「仮面ライダー電王」で女優デビュー。その後、ドラマ・映画に出演する傍ら、自身の出身地である鳥取県の「とっとりふるさと大使」や「鳥取銀行」のイメージキャラクターを務めるなど、他分野で活躍している。主な出演作に、ドラマ「アルジャーノンに花束を」、「相棒」。映画「ペコロスの母に会いに行く。」「駆込み女と駆出し男」「無伴奏」などがある。2017年2月には、映画「愚行録」の公開が控えている。

## ●総合司会者



おのき ひろし  
大木 浩司さん

NHK鳥取放送局放送部副部長アナウンサー。1997年NHKに入局。東京アナウンス室、広島放送局などを経て、2014年にNHK鳥取放送局に赴任。現在、同局放送部の副部長を務める。

## ●ゲストパフォーマー



ぎふ げきだん  
岐阜ろう劇団いぶき

岐阜市を中心としたろう者による劇団で、1982年に結成。ろう者の感性・創造性を信じ、ろう者の可能性の追求やろう者の舞台を通じて、岐阜市民への理解を目的とし、ろう文化の一つとして活動している。全国ろうあ者演劇祭典に7回参加。1995年には、世界ろう者会議演劇祭典（ウィーン）に日本代表として参加。1996年には、県芸術文化奨励賞受賞。第9回岐阜市民芸術演劇の部に初めて参加。



## ● 審査員



ろう者

しょうぎ たかし  
庄崎 隆志さん

審査員長／演出家・俳優

『曽根崎心中』『遠野物語』主演など、俳優として表現方法を探求しながら演出・脚本も手掛ける。映画『ゆずり葉』主演。横浜文化賞・文化芸術奨励賞の受賞など、多くの受賞歴があり、ろう者の俳優の第一人者として活躍中。



ろう者

おし だり あき こ  
忍足 亜希子さん

女優

映画『アイ・ラブ・ユー』でろうの主演女優としてデビュー。映画『アイ・ラブ・フレンズ』『アイ・ラブ・ピース』『黄泉がえり』など印象深い演技を披露。ドラマ・CM・モデルとしても活躍。



ろう者

こなか えい いち  
小中 栄一さん

全日本ろうあ連盟副理事長

7歳頃に聴覚障がいとなる。NPO法人ろう教育を考える全国協議会 理事長／社会福祉法人富山県聴覚障害者協会 理事／富山県聴覚障害者センター 施設長／富山市聾唖福祉協会 会長



聞こえる人

かど ひで ひこ  
門 秀彦さん

絵かき

ろうあ者の両親を持つ健聴者。両親との手話コミュニケーションの補足として絵を描き始める。

ことばで会話することだけがコミュニケーションではないという思いから、「HAND TALK」という言葉を生み出しコミュニケーションの大切さを伝えている。



聞こえる人

みなみ るるか  
南 瑠霞さん

手話パフォーマー・手話通訳士

手話ミュージカルや手話ライブ等を展開する”手話パフォーマンスきいろぐみ”主宰。NHK『LIFE～人生にささげるコント～』『東京ディズニーリゾート』など、各メディア・舞台に出演。ドラマ『オレンジデイズ』、ハリウッド映画『バベル』等手話指導。



聞こえる人

やま だ もり お  
山田 衛生さん

鳥取県合唱連盟理事長  
全日本合唱連盟常務理事

1970年代よりオーケストラ、合唱等、地域の文化活動に携わり、1995、1998、2005、2014年県民による第九倉吉後援指揮者を務める。2004年鳥取県合唱連盟理事長に、2016年全日本合唱連盟常務理事に就任。





# チーム演技①

## 1 米子高等学校 (鳥取県)

読み聞かせ



初出場



## 2 京都八幡高等学校 南キャンパス (京都府)

学校紹介



初出場



## 3 京都府立龯学校 (京都府)

演劇



2回目



## 4 身延山高等学校 (山梨県)

歌唱・演劇



2回目





おか ざき ひがし

## 5 岡崎東高等学校(愛知県)

歌唱・ダンス

初出場

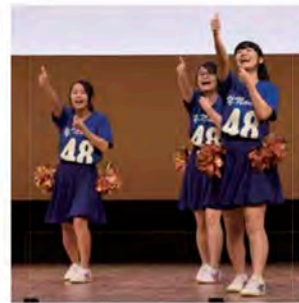


よこ はま なん りょう

## 6 横浜南稜高等学校(神奈川県)

歌唱・演劇

初出場



ま わ し

## 7 真和志高等学校(沖縄県)

演劇

3回目

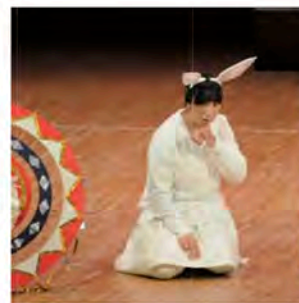


とっとり ろう

## 8 鳥取聾学校(鳥取県)

演劇・傘踊り

3回目





# チーム演技②

## 9 松原高等学校 (大阪府)

演劇

3回目



## 10 杏和高等学校 (愛知県)

歌唱・演劇

2回目



## 11 境港総合技術高等学校 (鳥取県)

歌唱・ダンス

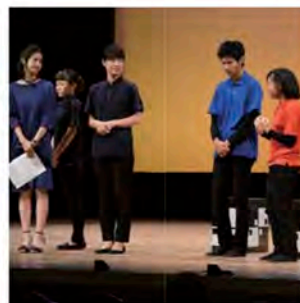
3回目



## 12 奈良県立ろう学校 (奈良県)

演劇

3回目

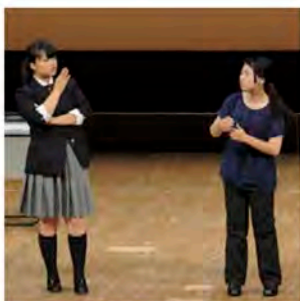




いし かり しゅう よう  
**13 石狩翔陽高等学校** (北海道)

演劇

3回目



せい しん がく えん ちゅう どう きょう いく  
**14 聖心学園中等教育学校** (奈良県)

ダンス

初出場



おお いずみ さくら  
**15 大泉桜高等学校・**  
 たち かわ  
**立川ろう学校** (東京都)

ダンス・コント

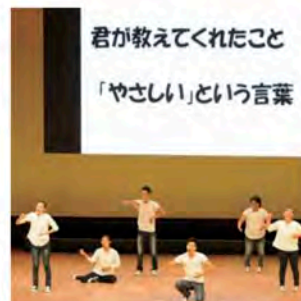
3回目・初出場



み い  
**16 三井高等学校** (福岡県)

ボディーパーカッション・歌唱

3回目



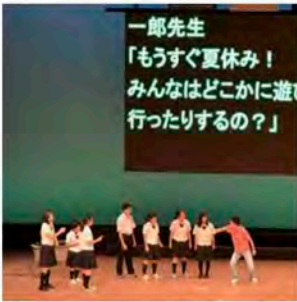


# チーム演技③

## 17 中央ろう学校(東京都)

歌唱・演劇

初出場



## 18 鳥取城北高等学校(鳥取県)

コント

2回目



## 19 田鶴浜高等学校(石川県)

歌唱・演劇

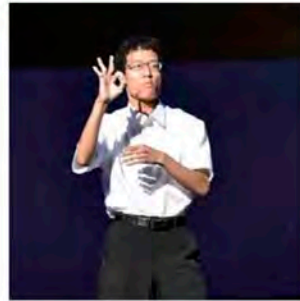
3回目



## 20 熊本聾学校(熊本県)

語り

2回目





# 大会の様子



応援



想い



い



青春



情熱





# バリアフリー対策

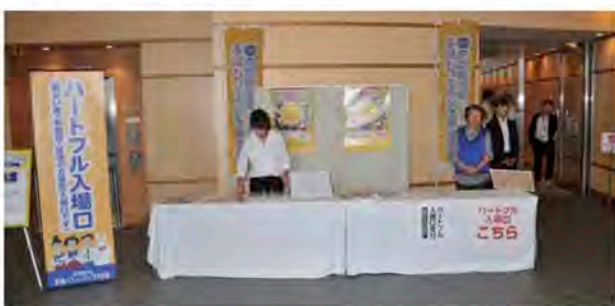
障がいのあるなしに関わらず、誰もが楽しめる大会をコンセプトに、様々なバリアフリー対策を行いました。

## ●SPコード



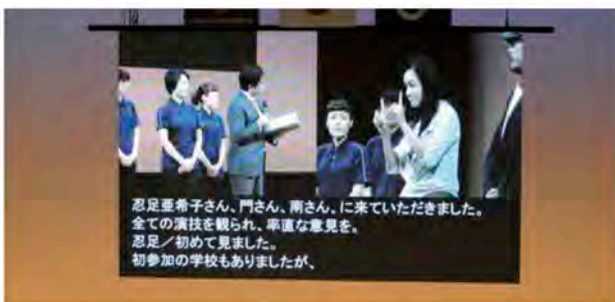
チラシなどの配布物には、視覚障がい者向けに音声読み取りができる「SPコード」を添付しました。

## ●ハートフル席



階段の昇り降りが必要なく入場できるよう1階前方に約180席のハートフル席を設置し、お年寄りや体の不自由な方、妊婦の方などにご利用いただきました。

## ●LEDスクリーン



情報保障を確保するため、広い会場のどの席からも見やすくなるよう手話通訳・ライブ映像・要約筆記の3つの要素を1つの画面で表示できる大型のLEDスクリーンを配置しました。

## ●託児・救護室の配置

簡易ベッド付の救護室には、看護師を配置。また、専門の託児スタッフのいる託児室を設置しました。

## ●総合案内



総合案内には、手話通訳スタッフを8名配置。また、情報ボードを掲示し、今ステージで何が行われているかを文字情報で伝えました。また、総合案内だけでなく、会場内にも手話通訳スタッフを配置し、聴覚障がい者への配慮を行いました。

## ●無料シャトルバス



JR倉吉駅と会場間を結ぶシャトルバス（車イス乗車可）を運行しました。

## ●インターネット動画配信



会場へ来ることのできない方も大会を楽しむことができるよう、インターネットでライブ配信しました。

## ●音声ガイド(視覚障がい者向け)

ステージの様子を実況しながら、伝える「音声ガイド」を用意。ガイドはリーディングアクトの田中京子さんが担当し、多くの視覚障がいの方にパフォーマンスをお楽しみいただきました。



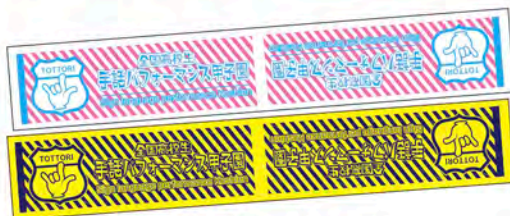
# 公式グッズ販売

## ●公式グッズ

大会の記念に公式グッズを制作・販売し、多くの方にお買い物を楽しんでいただきました。  
(制作・販売は、障がい福祉サービス事業所等が行いました。)



缶バッジ(250円)



マフラータオル(各600円)



手話甲子園フォトスタンド(600円)



手話甲子園キーホルダー(500円)



手話甲子園限定Tシャツ(900円)



手話甲子園公式ポロシャツ(各2,000円)



ステッカー3点セット(1セット 200円)



ピンバッジ(各500円)





# 会場の様子

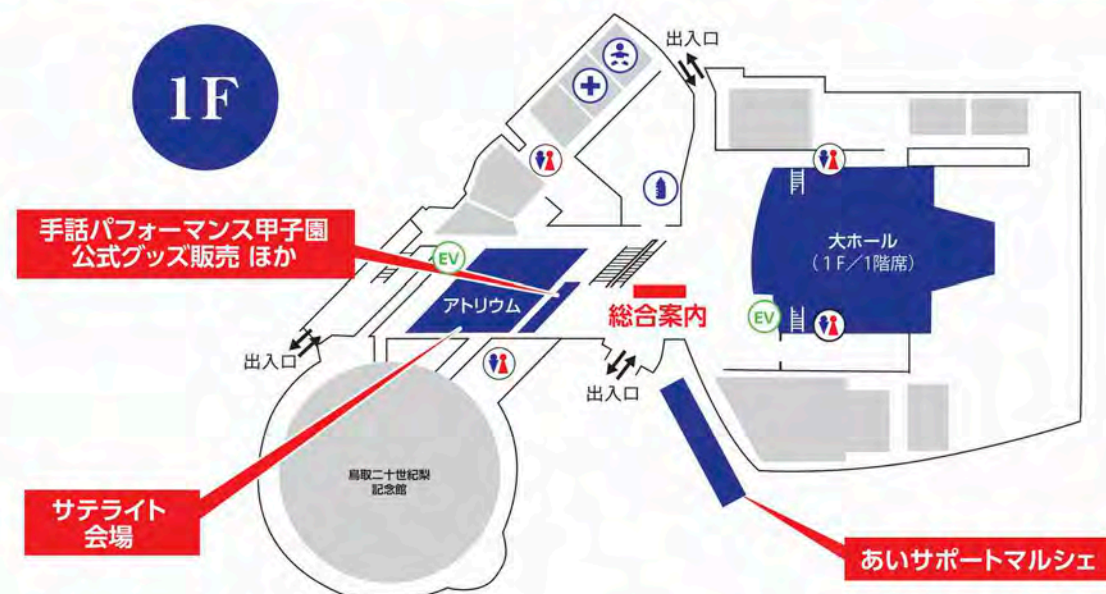
## ●鳥取県聴覚障害者協会コーナー

イベントの共催者でもある(公社)鳥取県聴覚障害者協会によるオリジナルグッズ等の販売コーナーを設けました。



## ●協賛企業PRコーナー

大会に多大な協賛や協力をいただいた(株)明石スクールユニフォームカンパニー様のPRブースを設置しました。



## ●サテライト会場

240インチのスクリーンと、60インチのモニターを3台設置し、会場内の様子を放映しました。



## ●あいサポートマルシェ

障がい福祉サービス事業所9店舗が出店し、特産品や軽食・スイーツ等飲食物・オリジナル製作品等の販売を行いました。





## ●鳥取聾学校写真展

鳥取聾学校写真部が撮影した写真約20点を展示しました。また、同部の作品を紹介する写真集の無料配布を行いました。



## ●手話パフォーマンス甲子園PRコーナー

第1回大会からの様子を映像と写真で紹介しました。

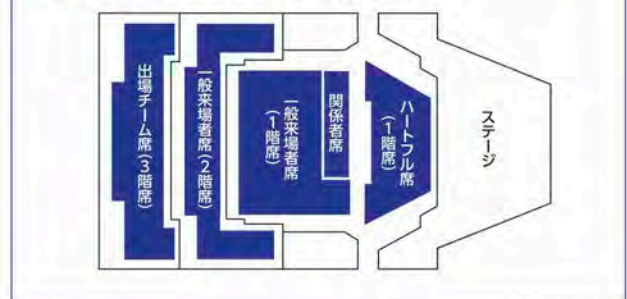


## ●手話パフォクイズラリー

手話にまつわるクイズに答えるクイズラリーを行い、ステージでは、豪華賞品が当たる抽選会を行いました。



## ●大ホール 配席図



## ●おもてなしブース

県外からの来場者の案内所として、JR倉吉駅に「おもてなしブース」を設置。大会の紹介や鳥取県の観光PRを行いました。



# 交流会

## ●日時

平成28年9月24日(土) 18時～20時

## ●会場

鳥取短期大学・鳥取看護大学 シグナスホール内体育館  
(鳥取県倉吉市福庭854)

## ●出席者

約300人

- ・手話パフォーマンス甲子園出演者(出場チーム、審査員、司会者等)
- ・来賓(全日本ろうあ連盟、日本財団、鳥取県議会議員等)
- ・主催、共催者(鳥取県、実行委員会、鳥取県聴覚障害者協会)

## ●主催

鳥取県、手話パフォーマンス甲子園実行委員会

## ●形式

立食ビュッフェ方式

## ●次第

- ・主催者あいさつ
- ・乾杯
- ・出場チーム抱負
- ・アトラクション 「マカロニ」ダンスステージ
- ・今井絵理子参議院議員からのエール  
(第1回・第2回大会司会者)
- ・司会者からのエール(松本若菜さん)
- ・審査員長からのエール(庄崎隆志さん)



交流会の様子



大会に出場する高校生と御歓談になる佳子内親王殿下





## ● 皇室の御臨席

佳子内親王殿下に御臨席をいただいた。

## ● アトラクション

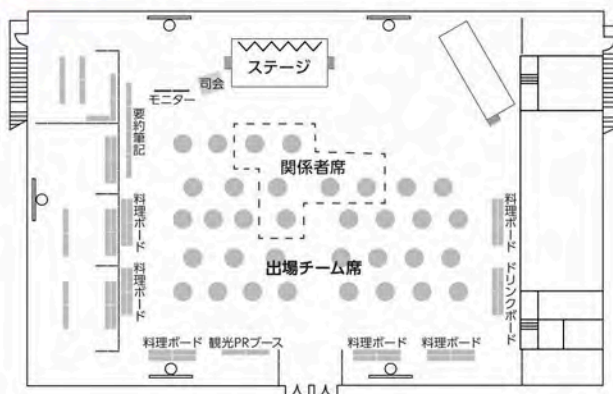
「マカローニ」ダンスステージ

手話パフォーマーの高木里華とヒップホップ・ダンサーのTAMAの2名からなるろう者による女性ユニット。

軽快なダンスで会場の高校生たちを楽しませました。



## ● 配席図



司会者からのエール(松本若菜さん)



審査員長からのエール(庄崎隆志さん)



第1回、第2回の司会を務めた今井絵理子さん(現参議院議員)も応援に駆けつけ、出場者にエールを送りました。



談笑するマカローニのTAMAさんと高校生のみなさん



# 予選審査会

## ●日時

平成28年8月9日(火)

## ●会場

鳥取県庁

## ●審査員(4名)

- ・審査員長 庄崎 隆志さん(ろう者)
- ・小中 栄一さん(ろう者)
- ・門 英彦さん(聞こえる人)
- ・山田 衛生さん(聞こえる人)



庄崎 隆志さん



小中 栄一さん



門 秀彦さん



山田 衛生さん

## ●審査方法

各チームから提出を受けたパフォーマンス映像(3分以内)について、審査員4名により審査を行い、本大会に出場する20チームを選出しました。

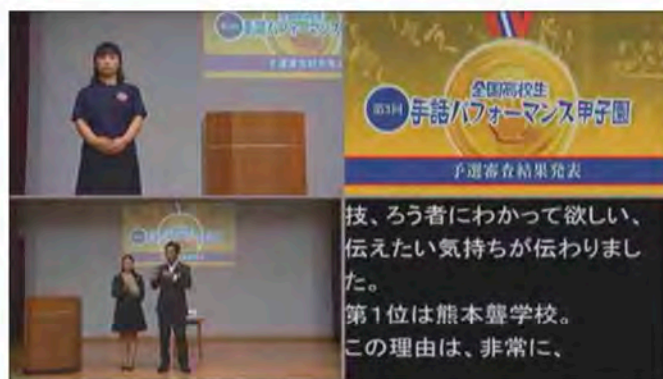


## ●審査結果は全国へ配信

予選審査会終了後、結果発表会見及び本大会発表順等の抽選を行い、その様子をインターネット中継し、全国へ発信した。



結果発表会の様子



インターネット中継映像の様子



## ● 予選参加チーム(本大会出場チーム除く。(61チーム・65校))

過去最多となる全国30都道府県から、61チーム(65校)の参加申込みがありました。

ブロック名	高校名
北海道・東北 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>●札幌平岸高等学校(北海道)</li> <li>●石狩翔陽高等学校a(北海道)</li> <li>●美唄聖華高等学校(北海道)</li> <li>●新得高等学校(北海道)</li> <li>●鶴岡中央高等学校(山形県)</li> </ul>
関東 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>●松井田高等学校(群馬県)</li> <li>●大川学園高等学校(埼玉県)</li> <li>●クラーク記念国際高等学校 東京キャンパス(東京都)</li> <li>●野津田高等学校(東京都)</li> <li>●二俣川看護福祉高等学校(神奈川県)</li> <li>●藤沢総合高等学校(神奈川県)</li> <li>●(豊南高等学校(東京都))</li> <li>●(秀明八千代高等学校(千葉県))</li> <li>●(平塚湘風高等学校(神奈川県))</li> <li>●(神奈川工業高等学校(神奈川県))</li> <li>●(立花学園高等学校(神奈川県))</li> <li>●(小田原総合ビジネス高等学校(神奈川県))</li> <li>●(茅ヶ崎高等学校(神奈川県))</li> </ul>
中部 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>●啓新高等学校(福井県)</li> <li>●掛川高等学校(静岡県)</li> <li>●桜花学園高等学校A(愛知県)</li> <li>●桜花学園高等学校B(愛知県)</li> <li>●南陽高等学校(愛知県)</li> <li>●安城生活福祉高等専修学校(愛知県)</li> <li>●海翔高等学校(愛知県)</li> </ul>
近畿 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>●朝明高等学校(三重県)</li> <li>●伊賀白鳳高等学校(三重県)</li> <li>●八幡高等学校(滋賀県)</li> <li>●クラーク記念国際高等学校 大阪梅田キャンパス(大阪府)</li> <li>●芦間高等学校(大阪府)</li> <li>●福井高等学校(大阪府)</li> <li>●鳴尾高等学校(兵庫県)</li> <li>●社高等学校(兵庫県)</li> <li>●橋本高等学校(和歌山県)</li> </ul>
中国・四国 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>●青翔開智高等学校(鳥取県)</li> <li>●岩美高等学校(鳥取県)</li> <li>●萩高等学校(山口県)</li> <li>●高松南高等学校(香川県)</li> <li>●宇和高等学校(愛媛県)</li> <li>●嶺北高等学校(高知県)</li> </ul>
九州・沖縄 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>●唐津青翔高等学校(佐賀県)</li> <li>●嬉野高等学校(佐賀県)</li> <li>●神埼清明高等学校(佐賀県)</li> <li>●平戸高等学校(長崎県)</li> <li>●大分東明高等学校(大分県)</li> <li>●佐伯豊南高等学校(大分県)</li> </ul>



# 広報・誘致

## ● 広告等

- ・日本海新聞 記事体広告(1回)
- ・日本海新聞 ラテ欄(2回)
- ・日本海新聞 うさぎの耳 全5段広告(1回)
- ・日本海テレビ 開催告知テレビCM 15秒(30回)
- ・日本海テレビ 24時間テレビでの告知
- ・日本海テレビ 情報番組「スパイス・カフェ」にて告知
- ・FM山陰 開催告知ラジオCM 20秒(16回)



ラテ欄広告



記事体広告



特集記事



24時間テレビ



うさぎの耳 全5段広告



テレビCM

## ● チラシ等

- ・A4版チラシ(出場チーム募集篇・出場チーム決定前篇・出場チーム決定後篇)
- ・B1版/B2版/A1版ポスター ・のぼり(開催篇・大会紹介篇) ・卓上のぼり(開催篇・大会紹介篇) ・横断幕 ・懸垂幕
- ・うちわ ・手提げ袋



出場チーム募集篇



大会開催篇①(日程紹介等)



大会開催篇②(出場チーム決定)



うちわ



手提げ袋



ポスター



大会のぼり①  
(卓上のぼりも制作)



大会のぼり②  
(卓上のぼりも制作)



## ●YouTube動画

- ・大会プロモーション映像「チーム募集篇」
- ・大会プロモーション映像「予選審査会開催篇」
- ・大会プロモーション映像「本大会開催篇」
- ・大会プロモーション映像「大会ダイジェスト篇」
- ・大会プロモーション映像「明石スクールユニフォームカンパニーPRキャラクター篇」
- ・応援メッセージ 柳匡裕さん(手話カフェオーナー)
- ・応援メッセージ 善岡修さんと貴田みどりさん
- ・応援メッセージ 早瀬久美さん(薬剤師)
- ・応援メッセージ 若林亮さん(弁護士)
- ・応援メッセージ 岸野楓さん(早稲田大ラグビー部)
- ・応援メッセージ 松本若菜さん
- ・応援メッセージ HANDSIGN



チーム募集篇



予選審査会開催篇



本大会開催篇



応援メッセージ 松本若菜さん



応援メッセージ HANDSIGN



明石スクールユニフォームカンパニーPRキャラクター篇

## ●YouTubeでのライブ配信(手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル)



8月9日(火) 予選審査会結果発表



9月25日(日) 本大会

## ●ホームページ・SNS



公式サイトを開設。Facebook、twitter、You Tubeを活用し、大会情報など随時発信しました。

## ●ディスプレイ広告



平成28年7月4日(月)～9月25日(日)まで、山陰主要駅(鳥取駅、倉吉駅、米子駅、松江駅、出雲市駅)でデジタルサイネージによる広告を行いました。

## ●第3回大会公式テーマソング

HANDSIGN「LIFE STORY」



# 大会ダイジェスト番組

## ●番組名



## ●内容

第3回手話パフォーマンス甲子園のステージの様子を中心に、前回大会の優勝チーム、奈良県立ろう学校や鳥取県内の出場チームに事前取材を行い、大会の魅力、手話に対する思いをメッセージとして伝える。

## ●司会

・TATSU (HANDSIGN)  
手話を取り入れたダンスグループ「HANDSIGN」のメインヴォーカリスト。第1回大会は審査員、第2回大会はゲストパフォーマーとして登場し、大会への縁も深い。



## ●レポーター

・本庄かなこ  
地元倉吉市の現役高校生タレント。同じ世代の高校生からのメッセージを視聴者へ伝えました。



## ●放送日

平成28年10月29日(土)13時00分～14時00分  
日本海テレビ

## ●告知(ダイジェスト版)放送

平成28年10月22日(土)10時25分～30分  
平成28年10月29日(土)10時25分～30分  
日本海テレビ





# 手話パフォーマンス甲子園実行委員会

## ● 実行委員会委員

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
会長	鳥取県知事	平井 伸治
委員	一般財団法人全日本ろうあ連盟 事務局長	久松 三二
	日本財団 理事長	尾形 武寿
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長	下垣 彰則
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部 支部長	福田 幸夫
	鳥取県商工会議所連合会 会長	藤縄 匡伸
	鳥取県教育委員会 教育長	山本 仁志

【オブザーバー】内閣府、厚生労働省、文部科学省

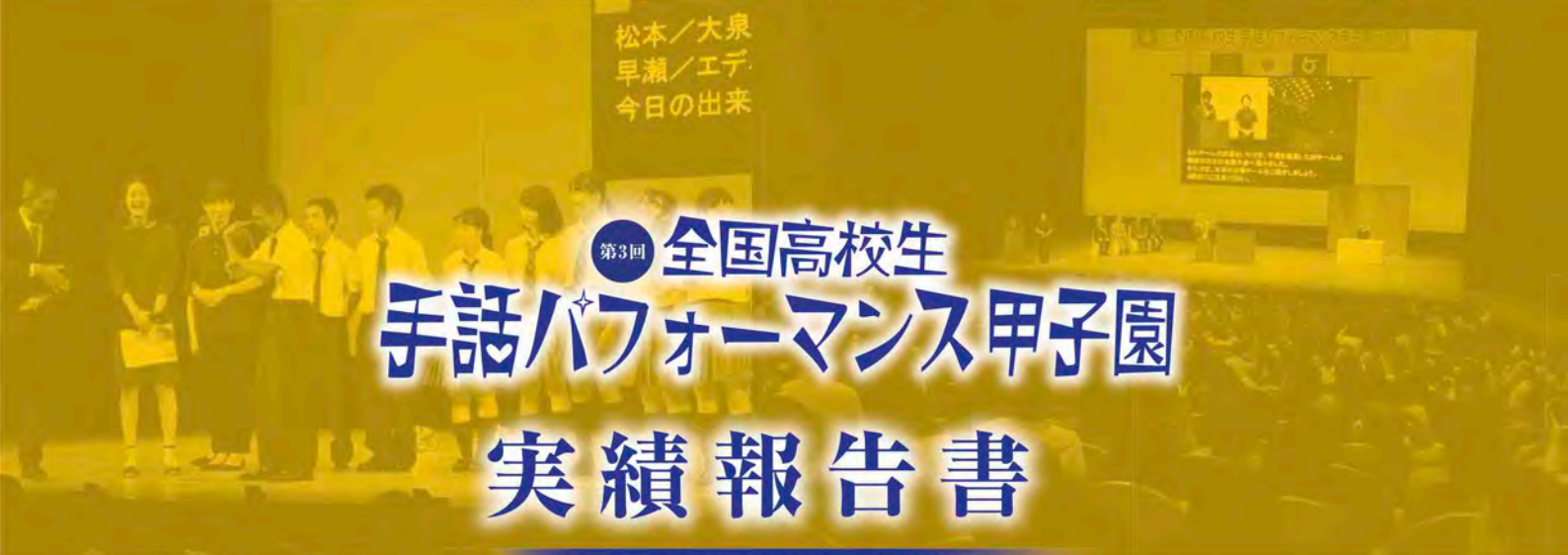
## ● 企画推進会議委員

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部長	藪田 千登世
委員	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	廣田 喜春
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長	戸羽 伸一
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 専務理事	杉本 新二
	鳥取県教育委員会 教育次長	寺谷 英則
	鳥取県高等学校長協会 会長	依藤 典篤
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	山内 晃
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子

## ● 監事

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
監事	鳥取県立鳥取聾学校 事務長	上杉 郁子
	鳥取県会計管理者会計局会計指導課長	田中 順一





# 第3回 全国高校生 手話パフォーマンス甲子園 実績報告書

手話パフォーマンス甲子園実行委員会



- 主催 / 手話パフォーマンス甲子園実行委員会
- 共催 / 鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
- 特別協力 / 一般財団法人全日本ろうあ連盟
- 後援 / 内閣府、厚生労働省、文部科学省、倉吉市、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、全国高等学校文化連盟、朝日新聞厚生文化事業団、NHK厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国難聴児を持つ親の会、日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、朝日新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSK山陰中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、FM鳥取、DARAZ FM

● 協賛



**AKASHI S.U.C.**  
株式会社 明石スクールユニフォームカンパニー



山陰合同銀行



青い鳥の銀行です。  
鳥取銀行

大山どり



白バラ牛乳  
大山乳業農業協同組合



株式会社 鳥取県情報センター

● 特別協賛

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION